

2026年4月の生産・出荷実績に関する石油化学工業協会コメント

令和8年5月21日

2月末のホルムズ海峡の実質封鎖以来、当協会の各会員企業においては、国内石油精製からのナフサ調達の継続、中東以外からのナフサ調達の拡大及び製品在庫の活用により、石油化学製品の供給継続に全力を尽くしている。

4月の生産・出荷実績は、ナフサクラッカー等における定修の集中や中東情勢の変化を受けた需要の先取り等の影響もあり、生産量は前年同月比で減少したが、ナフサ等の原料調達の取り組み等により、主要石油化学製品であるポリエチレンやポリプロピレンは3月の生産量から大幅に増加している。また、国内出荷においてはポリエチレンやポリプロピレンといった主要石油化学製品では、製品毎に差は見られるが、全体として供給は維持できている。

在庫の状況についても、ポリエチレンやポリプロピレンといった主要石油化学製品では国内需要の3カ月以上の水準を維持しており、直ちに供給困難となる状況ではないと認識している。また、国内石油精製から供給される国産ナフサが一定量確保され、影響緩和に寄与している。さらに会員会社による継続的な中東以外の地域からのナフサの代替調達の確保が進み、従来は2割程度であった中東以外の輸入ナフサ量は5月には大幅に増加する見込みとなっている。

当協会としては、引き続き、国及び会員企業と密接に連携しつつ関連情報収集や必要な措置の徹底など安定供給に必要な対応を行っていくこととしている。

最後に、当協会としては、事態が一刻も早く収束し、ペルシャ湾地域における船舶の安全航行が回復することを強く求めるものである。

【本件に関するお問合せ】

石油化学工業協会

志村、武井 TEL 03-3297-2019

石油化学工業協会